



2012年3月23日
げんき堂整骨院盛岡イオン進藤院長からの報告

大槌町での施術ボランティアと釜石市で行ったストレッチ教室についてご報告いたします。大槌町浪板仮設住宅集会所で15人の被災された方を対象に施術を行ってきました。今日は先月施術させていただいた方がおにぎりを作って私を待っていてくれました。非常にうれしかったです。今回で始めてから半年になり、道中の被災地の景色はまだ崩壊した建物がほとんどではありますが新しい建物も建ち、少しずつ回復に向かっているのを感じました。そんな方々を支えられるよう今後も継続していきます。また、いつもお世話になっている患者様の格闘家平野仁さんのジムが今月オープンし、急遽、地域の生徒さんを対象にストレッチ教室を行うことになりました。急でしたが10名程の方に参加いただけました。その後、選手に左膝蓋骨脱臼の後療とテーピング指導、腰部捻挫に施術を行ってきました。



2012年1月31日
げんき堂整骨院 盛岡南進藤院長からのボランティア報告

大槌町浪板第2仮設住宅集会所で11時～15時の間に行ってきました。今回は私一人でおおよそ15分の施術を12人に受けていただきました。また、大槌町役場から今後の支援についての意見交換会への参加依頼もいただきました。スケジュールの都合上、参加出来ませんでした。今後も自治体や団体と連携しあって被災地支援を行っていきます。

2011年10月18日
げんき堂整骨院
盛岡イオン進藤院長からのボランティア報告

18日に岩手県大槌町の浪板仮設住宅集会所にて施術ボランティアに行ってきました。今回、私1人でしたが11時から15時の間で14名の方に利用していただきました。被災地の瓦礫の撤去、仮設住宅の建設は進んでいる様子ですが今回向かった集会所の周りは未だ震災の爪痕が深く、利用していただいた方々の体も傷んでいました。しかし、事前の告知をしてくれた地元の方、盛岡南のスタッフ達、たくさんの人に協力してもらった結果、皆さんからたくさんの「ありがとう」をいただくことができました。今後、冬が来ると今以上に外出が困難になることが予想されます。震災から半年以上過ぎましたがこれからの健康のサポートを継続的に行っていきたいと思えます。今後は毎月1度を1年間継続していきます。



9月18日被災地ボランティア活動報告



石巻市の仮設住宅開成団地集会所にてボランティアマッサージをさせて頂きました。
腰痛を始め肩、首の痛みによる寝つきの悪さを訴える方が多くいらしゃいました。
住人の方は、様々な地域から抽選で振り分けられ入居しているため、意外にも余り交流がないようです。
今後マッサージをきっかけ、住人の方々のケアと交流の場、そして笑顔、元気を提供できればと思います。



南三陸町ボランティア



南三陸町ボランティアの報告をさせて頂きます。
24日は南三陸町歌津にあります名足保育園と歌津つつじ苑にマッサージボランティアに行きました。今回はボランティアに来ての方達や施設の職員に施術を行なってまいりました。
皆さんとても明るく元気でみんな話を盛り上げながら楽しく施術をすることが出来ました。
そして現地を見ながら帰ってきましたが改めて恐ろしさを実感しました。少しでも自分に来れることをやり続ける事が大切だと思います。
このようなチャンスを頂きましてありがとうございます。今回行ったメンバーも実際見てみるこの大切さを実感してくれたと思います。次回もありません。ぜひ参加させて頂きたいと思えます。

8月24日被災地の南三陸町へボランティアへ行かせて頂きました。震災から5ヶ月。解散した避難所も多く、今回はボランティアや物資が集まる保育園と老人ホームでのボランティアとなりました。
到着するまで、なんと声をかけたら：等戸惑っておりましたが、思いのほか被災地の皆さんの元気な姿に驚かされました。様々な思いを抱えながら、一日も早く日常に戻れるように強かに過ごしておられるのだと思えます。

リラックス品川サイト'店 小野チーフからの被災地報告



景が、更地になったら：そう考えると、ソツとしリアルに思えました。
そんな中、元気に復興している可愛らしいケーキ屋を見つけ、そこで復興支援と思い坂本統括にはケーキをご馳走していただき仲間とはお土産を買って帰りました。
被災者の方々の気持ちに寄り添い、共に感じるためには、実際に自分の目で見なければ、その時の気持ちを味合わなければ、分かることではない。と改めて感じました。

それから南三陸町を後にし石巻へ向かい津波の被害を目の当たりにしました。平野が続く石巻は建物の殆どの一階部分はもぬけの殻。生活感あるがれきが散乱。荒野かと思うような光景もありました。特に墓石が崩れている光景には、涙せずにはいられませんでした。
非常にショックでした。一体以前ここにどんな生活があったのか：普段通る道でこの道が、いつもの風

見てきたことをお客様・スタッフとシェアすべく店頭ポップを置かせて頂きました。我々一人ひとりに出来ることは何かを考え、その一つとして今後もボランティアを継続していくOMGパートナーズの一員であることに改めて誇りを持ちました。
このような機会を設けて下さった会長と、スケジュール調整を下さった高野室長、長崎さんにも感謝致します。

「地域活動報告」 前橋エリア・新潟エリア 執行役員 入澤達也



お疲れ様です。
今月はエリアでの
地域活動報告をさ
せて頂きます。
5/8前橋市大
胡町薬店駐車場に
て行われましたフ
リーマーケットに、
500円整体で出
店致しました。
げんき堂おこ

整骨院の内田院長
代理他スタッフ8
名で元気に行っ
てまいりました。
風の強い屋外に
て約30名の方が
整体を受けて下
さいました。
普段お過ごし整骨
院にみえている患
者様、お客様も

お顔を出して下さ
り、差し入れをし
て下さったり、地域
に密着が出来ている
ことを嬉しく思いま
す。
売上げはすべて被
災地義援金にさせて
頂きました。
5/28・29は高
崎ふれあい広場にて
パリッシュ祭に参加。
前橋・高崎・伊勢
崎地区のスタッフ施
術に、声出しに活躍
してくれました。
大平会長もお見え
になり、盛り立て
下さいました。
大きな声を出す
と楽しくなります。
そして人も集まっ

て来ます。
みんな元気になり
ます。
2日めはあいにくの雨
になりましたが、それ
でも多くの方が施術を
受けて下さり、たくさ
んの義援金を被災地に
送ることが出来ました。
皆さんに感謝です。
地域活動、社会貢献
活動を今後も積極的に
続けて参ります。

Fight! Nippon!!



一般財団法人 国際指圧普及財団 石巻市蛇田中学校&イオン石巻 特別講演「セルフ指圧セミナー」



▲ 蛇田中学校避難所にて

津波に襲われなが
らも必死に逃れ、命
からがら流木や瓦礫に
ぶつかっても助かっ
たのだというお話を
聞き、御家族を亡く
された。

浪越孝
ぐい〜とブログ引用
OMG PATNERS
より、大平会長・南
山社長・高野取締役・
安住統括・中西室長・
浪越孝SHI-A-TS
Uサロン広尾店 高木
が参加致しました。



▲ イオン石巻1F緑の広場にて

一般財団法人国際
指圧普及財団メン
バーで被災地にお
ける指圧奉仕活動
を行ってきました。
仙台から石巻の
避難所をはじめ、
女川まで被災地に
おける状況を視察
させていたたくと
同時に、被災地の
皆様のために自分
で出来るセルフ指
圧と二人一組で出
来るパートナー指
圧の指導をさせて
頂きました。

現地の状況は
ニュース等、メデイ
アを通して見るよ
りも、地震、津波
による、その爪あ
とは凄まじく悲惨
な状況でした。
それでも被災者
の皆さんは先行き
の見通しが全くつ
かない中、一生涯
命に生活をされ頑
張っておられました。
実際に静脈瘤に
よる痛みを訴えら
れる方、様々な体
の不調を抱えてお
られる方ばかりで
した。
津波に襲われなが
らも必死に逃れ、
命からがら流木
や瓦礫にぶつか
り怪我を負いなが
らも助かったのだ
というお話を聞き
、御家族を亡くさ
れた。

これからの定期的
に指圧奉仕活動を行
って行きたいと思っ
ています。
肺塞栓などの循環
器系疾患をはじめ、
精神的疲労による
疾患などの様々な
体の不調を抱えて
いる被災地の皆様
のために、少しでも
役に立ちたいと財
団メンバーと更なる
指圧奉仕活動で尽
力させていただきます。
ぜひともご参加
ください。

5月22日石巻市 蛇田中学校避難所、青葉中学校避難所でマッサージのボランティアをさせていただきました。



たくさん被災者様から感謝のお言葉をいただきました。石巻は現在も100カ所以上の避難所があるそうです。

まだまだ復旧復興まで時間がかかるかと思われませんが、今後とも月一回で避難所を回り被災者様のサポートができればと思います。

参加者の皆様、わざわざ遠くからお越しいただき誠にありがとうございました！これからも、どうぞ宜しくお願い致します。
(三條)

【参加メンバー】

- * げんき堂整骨院イオン富谷：三條
- * げんき堂整骨院ララガーデン長町：安住、大淵
- * GENKINEXT太田：溝口
- * げんき堂整骨院八戸沼館：宮木
- * げんき堂まえばし整骨院：佐藤、石川
- * げんき堂整骨院境町：吉川
- * げんき堂整骨院伊勢崎鹿島町：上田、吉澤
- * げんき堂おおひら整骨院：湯澤、久保、増淵
- * げんき堂幸和整骨院：奥沢、佐藤
- * げんき堂あさひ整骨院：田部井

石巻ボランティアを活動 (伊勢崎・太田エリア上田統括編)



5月22日に仙台石巻にボランティアに行つて来ました。石巻の中学の体育館に二ヶ所行い、伊勢崎・前橋・東北メンバー16人で行いました。石巻の被災者に喜んでもらう為に自分達に何が出来るかを考えボランティアを行いました。被災者の方にはとても元気な方がいらっしたり、逆に元気をいただきました。今後、継続的にグループとして続けて行くこと、自分達が精一杯生活を送る事が大切だと思います。

げんき堂くりす整骨院 ららん藤岡イベント報告 げんき堂くりす整骨院 福本



今回の参加したスタッフもみんな楽しいと言って、施術に入っていく、積極的にコミュニケーションをとり、

5月3日(火)、朝10時~16時まで、ららん藤岡にて、10分500円でお試し整体、筋調整を行いました。参加した、スタッフはくりす整骨院から福本、山本、ウラス高崎から町田の計3名と準備にくりす整骨院、塚田さん、杉本が手伝ってくれました、感謝です。



お客様も笑顔になり、楽になった、ありがとうの言葉を多く頂き、とても充実した1日でした。今回の売上金は東北の義援金の方に寄付させて頂きました。次回も世の中の方々の心と身体を健康にしていけるイベントを行なって行きます。

石巻ボランティア報告 三條

6月19日 石巻市立青葉中学校、蛇田中学校、門脇中学校、住吉中学校、好文館高校、向陽コミュニティセンター、貞山小学校の合計7カ所、86名の被災者様にボランティアマッサージを提供してまいりました。これも15名という人数だからできることです。東京、群馬から駆け付けたスタッフの皆さま

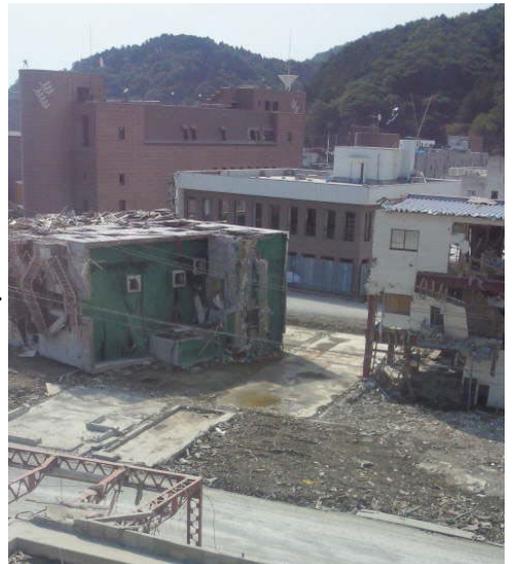


参加メンバー

いたはし：根井、富山、大熊 滝野川：井上、小谷 上板橋：館野、梶 くりす：福本、井口
羽生：石蔵、生方 アリオ深谷：堤 けやき：秋山 イオン富谷：三條 長町：安住

んに感謝です！
ありがとうございます！被災地ではガレキの撤去のボランティアの他、心のケアが足りていないようです。自分たちは体のケアと心のケアの両方ができる技術を持っています。これからも被災地に元氣と笑顔を届けましょう！

6月19日、東京エリア、高崎・北埼玉エリア、東北エリアで協力し、石巻の支援活動に参加してきました。



つい先日で震災後100日が経過しました。私達の生活については、現在ほぼ変わらない生活が送れています。しかし、被災地ではまだまだありえない情景や不慣れた生活をしている方々がたくさんいます。当エリアのスタッフも微力ながら、施術をさせて頂きました。提供する側の私たちが、逆に温かく迎えられるのが分かち合えました。人に携わる仕事の素晴らしさを再度気付きました。

引き続き支援活動は計画されています。それと店舗での義援金



活動も継続する事が重要だと感じました。参加したスタッフを中心に体験した事を仲間と患者様に伝え協力を募り継続していきます。行き帰りの車中、普段よりも皆といる事でより親密になれました。ゆっくりとはできませんでしたが、良い時間を過ごせたと感じています。



高野 智光
一般社団法人日本ボテセラピスト協会 理事長
株式会社GENKIDO 取締役
新規事業戦略室 室長
株式会社AXELSON BUSINESS TOKYO 取締役
株式会社セラピア 取締役
株式会社OMG 南関東エリアマネージャー

皆さん、お疲れ様です。先月は国際指圧普及財団のメンバーとしてのボランティア活動を行って頂きました。

震災後の4月から月1回のボランティア活動を開始し早3ヶ月が過ぎました。

今回は避難所での被災者に対する施術ボランティアではなく、仙台の子育て支援センターにて0歳から3歳児までの乳幼児を持つパパやママの方々へ親子の絆を築くスキンシップ向上と、親子のふれあいを通しコミュニケーションをアップすることを目的とした内容の親子指圧教室の実演でした。

猛暑日にもかかわらず想像以上の方が参加してください、とても感謝です。

震災後、子供たちの中にはPTSD (Post Traumatic Stress Disorder) を発症してしまふなど、震災の影響は多大で、PTSDは大規模の震災での一過性恐怖を感じるという単純な場合と、現実と向き合い復旧のプロセスも含めて長期間にわたって今後向き合わなければならない親の精神的不安要素から子供が感じ取る場合とで、その内容にも大きな差があります。

通常乳幼児期は、ふれ



あいや笑いあう事での親子のコミュニケーションがっぱい、ちょっとしたスキンシップのなかで、親心の愛情を沢山受け取ったお子さんの情緒は安定し、体の感覚ものびやかに発達します。

あたりまえに見えるやりとりが、お子さんの小さな心と体に大きな成長をもたらしてくれそうです。

親子指圧はお子さんの発達に合わせたふれあいはばい親と遊びの感覚で、コミュニケーションをより楽しく、豊かにし、また、ちょっとした時間でも、楽しいコミュニケーションの時間に変えられる場を提供できます。

国際指圧普及財団は親子のかけがえのないこの時期を大切に、心地よく過ごしてほしいという願いをこめて活動し、今回は特にPTSDを持つお子さんのパパやママ達のお役に立てればとの思いで活動をしました。今後さらなる普及に努めて行きますので、皆さん是非応援して下さい。



げんき堂整骨院 富谷三條からのボランティア活動報告

皆さんお疲れ様です！げんき堂整骨院イオン富谷の三條です。

今回、女川町、東松島市、石巻市にて合計10カ所の避難所でボランティアマツサージをさせていただきました。

今回の参加者は合計11名2つのグループに分かれて活動しました。

2ヶ月前に比べ、各避難所の避難者数が大分少なくなっているのを見ると復興がすすんでいるのだなと実感できます。

遠方から参加していただいたNEXT、げんき堂スタッフの皆様にもありがとうございます！

これからも、被災者の役に立つイベントを企画してまいります！

何卒、宜しくお願い致します。

〔参加メンバー〕

- 東京エリア 大日向 坂田 斎藤
- 南埼玉エリア 坂本 皆川 牧原
- 北埼玉エリア 福島修司 斎藤 古川
- イオン富谷 三條



7月24日、宮城県石巻のボランティア活動報告をさせていただきます。

石巻の避難所を南埼玉エリア3名東京エリア3名で6人1チームとして北埼玉4名と三條院長で1チームで回ってきました。

僕のチームは前半2カ所で14名の施術をし後半は4カ所回り40名の施術をしました。

途中で予定しないところに行ってしまう飛び込みになってしまいましたが入りましても早い施術を行なってきました。

終了予定より2時間オーバーしてしまいましたが沢山の人の施術できてよかったです。

前回は4月に参加して頂きましたが前回より避難所にいる人も少なく場所によつては三分の一ぐらいになっていました。

皆さん避難所生活が長いのもかわらなくとも明るく元気な方が多く色々なお話を聞かせてもらいました。

中には4日間、救助がくるまで水の中に居た人や8人で逃げていて後ろの6人が津波に巻き込まれ

てしまった人など想像を絶する体験をなされた方も居ました。みなさん前を向いて頑張っていました。微力ではありますが自分が出来る限りのことで継続してボランティア活動に参加させて頂きたいと思っております。

坂本潤一





4月24日 今日
は、南山・高野・
木村・入澤・井口・
上田・坂本・原・
根井・加藤・田中・
三條の総勢13名
で行ってきました。
みんなで少しでも
元気を提供できれ
ばと、汗だくで施
術しました。
たくさんの「あり
がとう」をいただき
ました。
こちらこそ、あり
がとうを言いたい。
感謝！
このボランティア
マッサージは継続し
て定期的を実施し
ていきます。
また、本日にげ
んき堂整骨院ララ
ガーデン仙台長町
が再開しました。
げんき堂整骨院
ララガーデン仙台
長町からも、安住
統括院長を中心
に、仙台の方々に
たくさんの「元気」
を発信していきま
す！

大平雄伸

私達、OMG パートナーズに出来る事は、
みなさんの心と体を元気にすることです！！
元気であることが復興への一歩です！

がんばろう
日本！
OMG PARTNERS



計画

日本元気



OMGパートナースの皆様、お疲れ様です。北埼玉エリア・高崎エリアの統括をさせて頂いて、井口稔です。

4月22日23日と仙台市若林区六郷の被災地にボランティアマッサージに行ってきました。

大平会長と南山社長、木村取締役は20日に現地入りしています。22日は佐野イオンス

Cの駐車場に朝5:00に高野取締役、坂本執行役員、根井統括院長と待ち合わせし出発しました。

東北道は地震の影響で所々補修されています、特に栃木県内は車が跳ねました。

被災地に向かうクルマの中で私は「被災地の厳しい現実をしっかりと受け止め、被災者の心と体の健康に少しでもお役に立てられるように全身全力で治療しよう！」とだけ念じていました。

そして今回、被災地に行かせて頂き、感じたこと:

☆被災地の皆様が予想とは違い、とても明るく気丈に振舞っていたこと。(勿論、体の負傷もありましたが、とにかく明るい)

ボランティアマッサージの際も、言葉の内容に

気をつけながらコミュニケーションを始めたが、83歳のおばあちゃんは「津波に揉まれて小学校の2階に流されていたよ。」

全身びしょ濡れだから、小学校のジャージを羽織って寒さをしのいだよ」と笑いながら話してくれました。(勿論、その瞬間は笑える状況ではないのですが)

☆元気を与えにいった私達のほうが、逆に元気を頂き感謝の念を強く感じたこと。

最終日にボランティアマッサージに行った被災者の方々が口を揃えて「ゴリラ集団のようなみんなが来てマッサージしてくれてたら避難所の皆に笑顔が戻った！笑顔が戻った！ありがとう」と感謝の言葉を頂き、涙をこらえたこと。

☆避難所の方々は、私の見る限りでは、「不平・不満」を口にしていての方がいませんでした。

震災に会った方々は食べれる・しゃべれる・見える・聞こえる・呼吸が出来ているといった普段私達が気にもしないことに對し、純粹に感謝し日々を生きるよ

うに感じました。それに比べ、私達はいつも、どれだけ心に「本当の感謝」を抱いて生きていたのうしよか?

いつの間にか、人にあるがとうを伝える回数が減っていた気がしました。

いつの間にか、笑顔が少なくなっていた気がします。

いつの間にか、人のせいにしていた気がしました。

いつの間にか、マイナスの言葉しか使っていなかった自分。

被災地の方々の「心」が気づかせて下さいました。

私達はしっかりと反省し出発しなければいけないと思います。

この瞬間から、本気のありがとうを伝えます。

この瞬間から、最高の笑顔で接します。

この瞬間から責任主体で生きます。

この瞬間から、プラスの言葉しか使いません。

実行するかしないかは「自分次第」!!!

皆で本気で実行すれば必ず日本は復興します。

皆様お疲れさまです。南埼玉エリアの坂本です。

先日、仙台市若林区にマッサージボランティアに行ってきました。

普段やり慣れない体勢でやるのでとても疲れましたがとても貴重な体験もさせて頂きました。それにしても被災者のかたの第一印象は明るい事です。

前を向いてました。施術をして会話がはずむにつれ、家が流されたことや、姉が亡くなったことなど色々とお話を聞かせて頂きました。僕にしてあげられるこ



先日、仙台市若林区にマッサージボランティアに行ってきました。

とは堅い床で寝ている被災者の方、家の後片付けで体がガチガチになっている人の体をほぐしてあげることしか出来ません。

今回、被災者の方々にみんなに来てもらってから集まっている人がみんな明るくなってきたよと言って頂け逆に僕達が元気をもらいました。

本当にも少しでも役に立てたのであればよかったと思います。これからOMGパートナースチームとして月一回日帰りで行こうかと計画中です。

OMGパートナースから元気を発信していきます!

げんき堂整骨院 盛岡MOSS
被災地ボランティア活動報告 只木



お疲れ様です。
げんき堂整骨院盛岡MOSS只木です。
東日本大地震の津波被害に遭った岩手県山田町のボランティアについてまいりました。
山田町の豊間根中学校には約100人の方が避難しており、希望者約40名のマッサージを行いました。
日中は自宅の片付けや買い出しなどであまり人がいませんでしたが、夜にはぎゅぎゅうになるそうです。
マッサージをさせていただいた方の中には「マッサージ初めてです。」という方や、「もう一回!」と再び並んでくださる方もいらっしゃいました。
皆さん笑顔で受け入れてくださり、帰り際には「また来てね」と言っていただけでした。
この機会をくださった山田町の皆様に感謝し、一日も早い復興をお祈りいたします。



お疲れ様です。
千葉エリア
統括の原です。
今回、東北地方被災地ボランティア活動を経験して気づいた点は笑顔力です。
参加する前は、テレビ等の暗いニュースで被災地の方々も悲しみに暮れしよんぼりしているのだからなあーと思っていました。



確かに現地入りして非難場所の体育館に足を踏み入れ目にした光景は、テレビのニュースと同じく、床に毛布を引き、部屋というが各家族の空間はダンボールの仕切りのみの厳しい環境でした。
皆、疲れた顔をしているなあーと感じたことが第一印象でした。
しかし、避難場所にいる子供たちには

無邪気な笑顔があり、紙飛行機で遊んでいました。
暗い被災地の中でも、子供たちの笑顔によって、笑顔には場の陰湿な空気を取り除き空間を明るくするパワーがあることを改めて気づかされました。
「生きていることは、素晴らしい! 笑うことは、素晴らしい!」
喜劇王チャップリンの人生哲学です。
笑顔には、優れた力が秘められています。
笑顔は悲しみを乗り越えて幸せを作り出す力があるのです。
「一笑一若」という言葉があるように、笑うことは若さと健康の源です。



いつも、笑っているプラスチックの人は、肌につやがあり、若々しく、病気にもなりにくく、なっても治療が早いようです。
笑顔は周囲を明るく、楽しくし、仲良くする力を持っています。
どんなに腹が立っていても、落ち込んでいても、笑いの渦の中に入れば、自然と元気になる事も忘れてしまいます。
くよくよしていることが小さなことのように思えてくるのが、不思議なくらいです。
笑顔は人間の特権です。

▲ 協力 八千代スタッフ

この笑顔を使って心の疲れた社会を明るくしていきますよ。
「自分さえよければ、といった人間ではなく人は、自分以外の人に尽くすために生まれてきた」ということを忘れずに地域や社会に積極的に貢献していきますよ。
先ずは来店数と笑顔の数の一致、そして地域一番笑顔の集まる店舗を築きましょう。

▶ 被災地小学校にて撮影



3月29日 げんき堂整骨院鶴見イオンヨーカ堂 スタッフ丸山のボランティア活動報告



お休みありがとうございました。昨日、今日とおかげさまで貴重な体験ができました。自分の行った避難所、片柳コミュニティセンターでは充分な物資の支援があり、三食十おやつまで時間までありました。

退屈しないように時間ごとに様々な催し物が企画されていて、ボランティアの方たちからはかなり熱い想いが伝わってきました。自分達のマッサージも専用の時間が

設けられていました。しかし一方、被災者の現在の生々しい生活環境をみると、結局被災者になつていないと分からないであろう壁も感じられたのは事実です。マッサージ中もなるべく震災の話は振らないようにしていただき、被災者同士で固まっていたりといった光景が見受けられませんでした。今月いっぱいまで埼玉スパーアリーナが被災者の受け入れを解除するため、

翌月以降は莫大な人数になるそうです。民間レベルでのバックアップは充分になされていたため、中核の人間がボランティアの配置、現地への普及作業がどこまで進むかが今後の展開のキーになると思っています。貴重な体験ができたのも、院長はじめ、周りのスタッフのおかげです。改めて休ませていただきありがとうございます。

皆様お疲れ様です。先日は治療家甲子園とOMGパートナーズとして仙台市若林区にてボランティア活動のマッサージに参りました。OMGパートナーズとしては大平会長、南山社長をはじめ全国から先生方がボランティアに参加して下さいました。

お忙しい中、遠く宮城県までお越しいただき誠にありがとうございました。今回の地区は現在も家が全壊または半壊になった方で避難所生活をつづけています。多くの方が、体の痛みや異常を訴えておりました。腰痛、膝痛、首の痛み症状は様々です。

避難所に何回かボランティアに伺わせていただく中で、被災された方から、たくさんの「ありがとう」とたなさんの感謝の言葉をいただきました。なかでも連日避難所にボランティアに参加して、印象に残ったのが、「体が楽になつて避難所に笑いが多くなつたのよ」と声をかけていただけましたことが何より有難かったです。まだまだ長期間にわたり被災者の方へのボランティアが必要で、

また運動不足などの解消として運動指導なども必要かと思われま。今回の活動を期に社会貢献活動を継続していきま

本日の被災地ボランティア報告致します。本日は朝9時に集合し、午前中は六郷中学校、若林大体育館にて、午後には若林小体育館にて被災者へ治療ボランティアを富谷の三條と行いました。本日も治療家甲子園のメンバー20名集まり、1日トータルで、20名前後の施術を行いました。関東から来た治療家甲子園のメンバーは、15時頃帰宅して行きましたが、仙台のやすらぎ整骨院の方と体育館より小さい公民館を回り施術してきま

げんき堂整骨院 イオン富谷 被災地ボランティア活動報告 三條



本日の被災地ボランティア報告致します。本日は朝9時に集合し、午前中は六郷中学校、若林大体育館にて、午後には若林小体育館にて被災者へ治療ボランティアを富谷の三條と行いました。本日も治療家甲子園のメンバー20名集まり、1日トータルで、20名前後の施術を行いました。関東から来た治療家甲子園のメンバーは、15時頃帰宅して行きましたが、仙台のやすらぎ整骨院の方と体育館より小さい公民館を回り施術してきま

やすらぎ整骨院の方と連絡先を交換したのも可能になりそうです。※今回、治療家甲子園のメンバーと共に、OMGパートナーズの大使として、安住統括院長と三條院長が、被災地のマッサージボランティアに参りました。安住統括院長と三條院長は、引き続き被災地のマッサージボランティアを継続する。4月21日〜24日まで、OMGパートナーズ役員・幹部総勢15人交代で、マッサージボランティアをしてきま

4月10日 被災地でのマッサージボランティア報告 安住統括院長報告



がんばろう日本!! がんばろう東北!! OMG PARTNERS 活動報告

げんき堂整骨院 八戸沼館 げんき堂整体院 八戸沼館 のボランティア活動



お疲れさまです。
3月27日、八戸市の避難所の一つ「湊公民館」へボランティア活動を行ってまいりました。
現在、約40名の方が避難生活をおくっている施設で、18名の方の治療を行いました。お話を伺うと1m以上の津波が押し寄せ、ほとんどの方は一階部分が全壊状態という状況で、「電化製品は全滅だよ」「保険証も通帳もどこにあるかわからない」「会社も全部流された」「この歳で、どうやって生活していけば良いんだろう」など、現状はとても深刻だと感じました。
しかし、皆さん明るく振る舞い、ある方は

「でも、これが縁で、今までは隣近所の顔も解らなかつたが、助け合う事で、みんなの絆が深くなった気がするよ」と話されました。
最後は、「ありがとう」と、大切な食材のお菓子やお飲み物をいただきました。
こんな時こそ、自分の持てる力を活かし、皆様の「心と身体の健康」のために努めなければいけないと感じました。
八戸市では、さらに19の避難所があり200名以上の方が避難生活をおくっています。
これからも一人でも多くの方のためにボランティア活動を行っていきます。



3月28日栃木エリア ボランティア活動

先日、足利市の名草（なぐさ）セミナーハウスへ行ってきました。
整骨院の患者さんでもある地元サッカーチーム御厨（みくりや）の方々に誘われていただいたのボランティア活動です！

期待と緊張感をもつての参加でした。
いつも行っているトレーナー活動は試合で選手の方々にストレッチやテーピングを行うので基本的に整体スタッフしか行かないのですが、今回はボランティア活動なのでリラクゼーションスタッフの参加も可能でした。

今回の活動内容として、セミナーハウスに避難している被災地の方々に施術を受けて頂いて元気になつてもらおう！というものでした。
ちなみにサッカーチームの御厨さんはジュニアチーム&避難してる子供達で運動を、ジュニアチームの保護者の方はカレーの炊き出しです。

被災された時のお話を聞かせて頂いたのですが、大変な苦勞をされていてテレビで観る以上の現実には胸が痛くなつてしまいました。
精神的な疲勞や長時間の運転による疲れが強く心身ともに震災のダメージを受けている様子でした。
津波を寸前で免れた方、親戚を失った方、放射能汚染で避難勧告を受けた方など：

様々な理由から大勢の方が家に帰りたくても帰れな

いでいます。

（セミナーハウスでは教室よりも小さな部屋が10部屋と入浴施設があり、各部屋に3世帯ほどが集まって避難生活を送っています。）
タオルやマットを準備して、いざ活動開始ー！！

施術用のベッドもない、床にマットと枕だけの状態で施術です。

姿勢を安定させるのが難しく、圧も思うように入りませんでした。

正直、お店で提供しているようなレベルには及ばないはず。

ですが、ひと押しひと押しに元気になって欲しいと願いを込めて施術を行いました。「ありがとう」の言葉とたくさんの方の笑顔を見て、やってよかった！と心から思いました。

被災された方々が一日も早く穏やかな生活を送れるよう願っています。

今回の活動を通して、お客様に対しても「健康にしたい」「心を診て良くなりたい」という思いがより一層強くなりました！

「仕事」が苦しいことや辛いことをして対価をもらうことでは決して無いということを改めて感じる事ができました。

「社会貢献する」簡単に言うとうと、誰かを幸せにするために今後も努力をし続け頑張っていこうと思います！
リラクスイオン佐野店
江戸谷・山藤・戸村